

国指定天然記念物「犬吠埼の白亜紀浅海堆積物」と銚子海岸の 植物生態と植物相に関する啓蒙のためのパンフレットの刊行

「銚子の自然を知る会」パンフレット刊行会

鶴岡 繁

Publication of leaflet for enlightenment “Shallow sea deposits on Cretaceous
of Japan Specification Natural Monument in the Inubousaki” and Ecological plants,
Flora of Choshi sea-shore

Society of understanding to nature in Choshi region

Shigeru Tsuruoka

1. はじめに

30年に及ぶ銚子市内の自然を愛する同好者の「銚子自然を楽しむ会」が中心となってこれまで多くの植物観察会や地層観察会の活動を行ってきた。最近の活動では1999年の銚子公正市民館での「銚子の自然と身近な自然の活用」、2000年銚子発見ウォーク・親子でチャレンジ「銚子の海岸植物観察会」、2002年の犬吠埼灯台周辺の草刈りを兼ねた植物観察会、2003年千葉県高等学校理科部会「銚子地層観察会」、2004年銚子郵便局の依頼で「国の天然記念物に指定された犬吠埼の白亜紀浅海堆積物」、2005年東京都葛飾区立小学校理科部会「銚子地層観察会」、2005年屏風ヶ浦の低地にある池をあまり改変しないようにしながら、銚子初めてのピオトープを造り、そこにカワツルモを移植し、観察会を開いた。現在、このピオトープの維持管理のため、萱刈りなどを実施している。以上のように、現在一般市民を対象とした観察会や展示会、教育関係の自然観察会など多岐にわたってその都度活動を展開している。

2. 銚子地域の地層と植物相の概要

銚子半島の地層は恐竜などが棲んでいたジュラ紀や白亜紀の中生代とよばれる海で形成された砂岩や泥岩で形成されている。白亜紀の地層は関東平野を

挟んだ西部の群馬県の山中部溝帯から西側では点々と連続している。この連続している白亜紀の地層(白亜系)を秩父帯と呼んでいる。関東平野は厚い新生代の地層に覆われており、白亜紀の地層は関東平野の中心では平野の下、2,000m以上の深さのところにある。そして、再び地上に姿を表すのが銚子地域であると考えられている。銚子の白亜紀の地層は白亜紀でも古い地質年代に属し、今からおよそ1億2,000万年前であり、その地質時代の地層が浅い海の中で堆積した様子が現在の海岸崖地や海岸地域で観察することができる。白亜紀に生存していた生物が化石として産出している。白亜紀の海底地層の様子が外浜(外洋)から沖浜(やや外洋)、ストーム構造(台風によってできた構造)などの堆積構造の様子が立体な断面で観察される。堆積の様子は「犬吠埼の白亜紀浅海堆積物」として国指定天然記念物に指定されている。化石としてはアンモナイト(千葉県指定天然記念物)、三角貝、生痕化石や植物化石などがある。

銚子の植物は今からおよそ100万年前の更新世(洪積世)の氷河期(寒冷な気候)や間氷期(暖かい気候)の気候変動や小さな気候変動を日本列島は受けていた。この時期の陸地に生育していた植物はその気候変動の影響を受けながら生態変動したと考えられる。50万年前には現在の関東平野の全体は海域となって

おり、銚子地域は本州陸域から切り離された孤島となっていたと考えられている。銚子の植物はこのような地質時代の歴史的背景と共に地質時代の気候の影響やこの地域の完新世(沖積世)後の陸化と浸食の影響を受けてきた。現在、銚子地域の植物の中には内陸型植物とは異なった海岸型に変異した植物種や崖地植物群落、北限種、稀少種の植物などがみられる。このように、銚子地域では日本の他の地域では観察できない植物や植物相の生態を観察することができる。銚子の植物がなぜ、海岸型となったか、その分布はどうか、崖地植物群落の群落形態や北限種、稀少種の植物などを観察・研究が期待される。また、現在の銚子の海洋では暖流と寒流がぶつかっており、海藻種や魚類種にも特徴あるものがみられる。

3. リーフレットを通しての啓蒙活動

国指定天然記念物の「犬吠埼の白亜紀浅海堆積物」は指定領域だけを保護対象にするだけでなく、指定地を中心とした地域を含んだ領域を保護していく必要がある。特に指定されている犬吠埼は観光客が多く訪れる場所でもあり小さな破壊がみられる。特に、植物については多くの人たちに周知してもらう場所と稀少種などの無断採取が考えられる地点とがある。そして、現在も観光を目的とした、あまり大きな開発ではない土地の改変などもみられる。しかし、このような小さな破壊やあまり大きくはない土地開発の改変を見逃してゆくことについては保護すべきであった植物や地質現象が消滅してしまう危険性がある。

このリーフレットを通して銚子がいかに学問的重要性を持っている地域であるかを多くの銚子市民に知ってもらうことによって、地層や植物相の自然保護に対する関心が深まることと思われる。特に、内容的にはやや説明部分も多くし、学校教材としても活用できるようなリーフレットを作成し、銚子市内の小・中・高等学校に配布することによって学校教育を通して、児童生徒の環境教育・自然保護教育につながるものと思われる。現在でも、銚子ではこのような地域的特性から多くの大学を中心とした地質学、生物学の実習の地域でもあり、更に最近是一般の人達を対象とした県内外からの自然観察会などの人達も多数来銚している。このような機会を通して、啓蒙資料として、このリーフレットを活用することによって、一段の自然保護の成果が期待される。また、インターネット中で紹介してゆきたい。